

鳥取 YEG 通信



発行：平成30年3月15日
鳥取商工会議所青年部
総務広報委員会

鳥取商工会議所青年部通信

3

March 2018

■平成29年度 会長あいさつ



鳥取商工会議所青年部
会長 福田 通拓
株式会社 インテリア
フクタ

三月に入つて啓蟄も過ぎ、土の中で冬ごもりをしてきた虫たちが春の陽気に誘われて地上に姿を現し始める季節になりました。あと半月経ちますと因幡千本桜の園の桜たちも咲き始め、春の訪れを告げてくれます。桜が「咲く」ことを「笑う」と表現するそうです。長い冬も終わり、街のあちこちこちらの桜の花の下で笑みがこぼれることでしょう。

さて、2月の例会では星取県の今年度の活動について行政、観光関係者をお招きし、グループディスカッションを行いました。昨年度からの星取県構想の取り組みでは「星取県というイメージ、メディア発信、グランピング、条例制定の提言、サッポロビール㈱とのタイアップによる星取缶ビール発売、県議会派要望、11月定例会議会条例可決成立(4月1日施行)、日本郵便㈱とのタイアップによる星取県フレーム切手発売、星取県スタンプ消印製作、星取県星空絵葉書1万枚配布など、さまざまな活動に取り組んでまいりました。これからも青年部の「星取県が地域に暮らす私たちの財産となり、観光・産業・経済の振興につながることを願っております。」

また、2月15日より第37回全国大会「岐阜かかみがはら大会」が開催されました。今年度は日本YEG35周年、渋沢栄一翁が140年前に商法会議所を設立された節目の年でもあります。玄孫にあたられる渋沢健氏の基調講演を拝聴する機会をいただきました。渋沢栄一翁が生涯500の企業育成、同

時に600の公共事業・民間外交に注力された陰には、感度は違えども同じものを感じる「共感」、その感度を平らに等しくするために補い合う「共助」、共感共助したものが創る「共創」、この3つのキーワードは、世代を超えた現在でも商工会議所に属する私たち会員にとつて大切なことだと痛感いたしました。また大会では、全国414単会、3万4千名の会員で構成される日本YEG事業発表会において、日本YEG大賞の準大賞を星取県事業が受賞しましたことを報告させていただきます。

結びにあたり、私ごとになりますが3月末を区切りに任期となります。有名なジョーレンの言葉に「二人で見る夢はただの夢、皆で見る夢は現実になる」とあります。私たちが青年部が活動の一つ一つの志を持つて取り組めば必ず地域、そして日本は今以上に良くなると思ひ、1年間活動してまいりました。古いものを壊して新しく創りあげ「破り立新」、本質的なものを忘れず新しく変化を取り入れていく「不易流行」、この8文字を年度当初より自分自身の念頭に置きながらも、実際に実行することは難しいことでもありました。会員の皆さんの「DREAM POWER」を大きな原動力として活動し、新しい仲間32名を新たに迎え、総勢160名の仲間とともに新年度に挑みます。私自身、3月31日まで渾身の力を振り絞り、「全ては鳥取YEGの為に、全てはふるさと鳥取の為に」活動させていただきました。至らぬ点も多々ありましたが、会員の皆さま、OBの皆さま、関係各位の皆さまのお力添えのもと活動ができましたこと心よりお礼申し上げます。鳥取商工会議所青年部は、藤縄会頭と同じく「鳥取の元氣、会員の元氣」のため、今年度のサブテーマである「魅力ある人・企業・地域を築く」ために活動してまいります。変わらぬ厚誼とご指導を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。1年間ありがとうございました。

2月例会(星取例会)

日時 平成30年2月7日(水) 19:00~21:00
場所 鳥取商工会議所 大会議室

2月の例会運営は企画運営委員会の担当でした。例会の内容については来年度迎える40周年の「キックオフ例会」にしようかという話も出ましたが、福田会長より、この2年間でかなり会員が増え、対外的に評価の高い「星取県PR活動」について会員の理解に差が生じているのでそこを埋められるような例会にしてほしい、併せて当委員会が手がけた「グランピングスターツアー事業」もきちんと紹介してほしいとの依頼があり、星取例会という切り口を進めていくことにしました。

会員に短時間で理解を深めてもらうためには、話を聞くだけではなく一緒に考えてもらう方がいいという結論に達しYEGが星取県に関わるようになった経緯や活動内容を紹介した上で、昨年10月に開催した「グランピングスターツアー」事業を題材に、収益性・継続性・集客力の面からより発展的な事業にするにはどうすればいいか、各グループがディスカッションを行い、それぞれ事業計画書を作り上げ、発表してもらったことにしました。また、「ディスカッションメンバー」には県庁・市役所・民間から星取県やグランピングに関係のある12名のゲストをお呼びし、それぞれの立場からご意見を頂戴しました。

事業計画書は、開催場所・ターゲット・時期・コンセプト・コンテンツ・集客方法を作り上げるもので、ディスカッションの時間が思ったほど取れなかつた中で、8グループのどれにも開催場所からして同じものがなく、その上コンセプトもさまざまに魅力的で、これをヒントにビジネスに繋げる会員が出てきてほしいと思ひました。

例会運営を通じて、例会の重みと会員に満足してもらう内容の大変さをあらためて実感しました。

企画運営委員会

中井 史生



福田会長 挨拶



白熱するディスカッション

委員長所感

総務広報委員会 委員長 恩田奈津江

初理事としてお受けした総務広報委員長の1年間は、日々心ならずも長く感じ、それでいて振り向けばあつという間に過ぎて行った気がします。ただ「事業を運営する」というゴールを目指し進んでいった毎日、自身の足りない部分などを自覚し、考えることができる得難い1年間でもあったと感じています。時には進むべき方向を見失い、立ち止まることもあったと思いますが、それを支え、手を引く張り、共に先を目指して走ってくれた委員会メンバーには、心からの感謝の気持ちでいっぱいです。また、各事業に参加し協力してくれたYEGメンバーがいてくれたからこそ、全ての事業を無事終了できたと思います。卒会までの1年、少しでも多くのメンバーと、この経験や思いを共有できる時間を過ごし、また自身への経験値としてしっかりと胸に刻んでおきたいと思えます。

提言提案委員会 委員長 糸原 修

当委員会は、鳥取の未来のため、私たちのふるさと・鳥取をより良くしていくためにはどうすればよいのか？を考え、行政等に対し、政策提言を行うことを目的とした、鳥取YEGでは初めて設立された委員会です。

7月に実施した「いなばの風会議」では多種多様なご意見をいただき、8月には浜松で行われた「郷創塾」に参加し、政策提言活動のイロハを学んでまいりました。そのほかさまざまな調査等を行い、現在でも今年度末に提出する政策提言書作成の真っただ中です。

新しいことへのチャレンジ・学びが多い委員会でしたが、委員会メンバーの支えと協力があり、やり遂げることができました。この1年間本当にありがとうございました。

ビジネスネットワーク委員会 委員長 森田 浩二

委員長を拜命し、早いもので1年が経とうとしております。平成29年度ビジネスネットワーク委員会は、会員の仕事を紹介するツールを作成して活発なビジネス交流を生み出すことを活動方針とし、1年間活動してまいりました。前半は計画通りに委員会活動を進めることができないこともありましたが、副委員長をはじめ委員会メンバーのアイデアと行動により、3回のOB交流会と4つのビジネス交流事業を行うことができました。ビジネス交流事業の集大成であるビジネスネットワークWEBは、メンバーはもちろん、外部の方にも利用したいただきたいと思っております。最後に1年間ともに活動した委員会メンバー・担当副委員長に感謝いたします。ありがとうございました。

まち興し委員会 委員長 村田 浩一

初の委員長を務めたこの1年。振り返ってみると、たくさん事業を行いました。5月の袋川こいのぼり撤去を皮切りに、商店街及びイオンモール鳥取北店のアンケート調査、行政職員を招いての意見交換会、宮崎県日南市の視察、袋川の除草活動、日南市から講師を招いての商店街視察、講師と行政職員及び商店街関係者を交えての意見交換会、6月講師例会の企画運営、お城祭り奴隊への参加、袋川の清掃活動、提言提案委員会と共催の行政職員を交えた意見交換会の開催、鳥取にU-Jターン者を増やすための動画コンテンツも作成しました。委員会メンバーをはじめ、たくさんの方に支えていただいた1年でした。

スキルアップ委員会 委員長 三坂 淳仁

早いもので、スキルアップ委員長になってから1年が経とうとしています。この1年、自分の人生の中でも経験をしたことのないいろいろな経験をさせていただきました。その経験の中でも、やはり一番はまさかの林修氏講演会です。何度か委員会を開催しては、皆で議論し合い、決定したことに対しては行動を起こしていく、の繰り返しでした。

大変ではありましたが、委員会メンバー皆で協力し合ったりやり遂げたことは、一生の思い出になりました。活動を共にしてきた委員会の皆さま、1年間本当にありがとうございました。素晴らしい委員会の委員長をさせていただいたことに心より感謝を申し上げます。最高の委員会でした！

会員交流増強委員会 委員長 岡田 悠

平成29年度会員交流増強委員会の委員長に任命されてから1年。あつという間でした。当委員会は、会員を増員し新たな価値を創出し、個のつながりを強め、会を活性化させることを目標に掲げ、「会員同士の交流を図る事業の開催」、「YEGメンバーの増強活動」を重点に1年を通して活動してまいりました。今年度は38名のYEGメンバーが増えました。増強活動にご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。交流事業も、「5月例会」、「YEGポワリング大会」と企画運営を行い、大勢の会員の皆さまに参加していただき、楽しんでいただけたと思っております。最後に、共に楽しく活動した委員会メンバーの皆さまに感謝申し上げます。1年間ありがとうございました！

企画運営委員会 委員長 中井 史生

委員長として心がけたのは、委員会メンバーが楽しくワクワクしながら活動できる委員会にすることでした。楽しくは、各会員が得意分野で活躍して周りから認めってもらいながら、新しい分野に触れて気づきを持って帰ってもらうこと。ワクワクとは、委員会メンバーのアイデアが掛け算となり、想定以上の事業にしていけることだと思います。東浜で開催した「グランピングスタツアー」はメンバーの力が結集して実現した、まさに集大成でした。委員長をさせていただきながら、メンバーの発想に驚き、心配りに感謝し、団結力に支えられた1年でした。できることならもう1年、このメンバーと一緒にやりたい！そう思わせてくれた仲間から感謝しています。

新入会員



池原 正樹君
(いけはら まさき)
事業所名 モルタルマジック(株)
所属委員会 スキルアップ委員会



岡村 政樹君
(おかむら まさき)
事業所名 セン・イレブ(鳥取)山店
所属委員会 総務広報委員会



水口 達君
(みずぐち とおる)
事業所名 千代興業(南)
所属委員会 会員交流増強委員会



西川 朋宏君
(にしがわともひろ)
事業所名 (有)西川商会
所属委員会 総務広報委員会



姫田 靖彦君
(ひめだ やすひこ)
事業所名 (株)原田建設
所属委員会 ビジネスネットワーク委員会